保証とアフターサービス

1 この商品には保証書がついています。

保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。

2 保証期間はお買い上げの日から1年間です。

保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

3 保証期間後の修理は・・・

販売店または当社サービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします。ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後６年です。

注）補修用性能部品とは、その商品の機能を維持するために必要な部品です。

この商品についてのご質問は

株式会社 シー・シー・ピー サービスセンター

TEL.03-3527-8899 FAX.03-3527-8956

営業日：月曜～金曜（但し、祝日は除きます）お電話受付時間 9：30～17：00

〒135-0064 東京都江東区青海3丁目2番17号
ワールド流通センターA棟 ユニエックス倉庫内

愛情点検	長年ご使用の加湿器の点検を！
	このような症状はありませんか？ ●スイッチを入れても、ときどき運転しないことがある。 ●本体が変形したり、異常に熱い。 ●こげくさい臭いがする。 ●その他の異常、故障がある。 ▶ このような症状のときは、事故防止のため、ただちにご使用を止めていただき、必ず販売店または当社サービスセンターに点検をご相談ください。

株式会社 シー・シー・ピー

本 社：〒111-0043 東京都台東区駒形2-5-4

OM1

キリトリ線

ハイブリッド式加湿器 保証書

持込修理

品番	KJ-373HE		
お客様 お名前	様		
お客様 ご住所	〒 電話番号（　　　）　　－		
お買い上げ日	年　月　日	取扱販売店	住所・電話番号 ☎　　　㊞
保証期間	お買い上げ日より 1年	対象部分 本体 消耗部品は除く	

本書はお買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
詳細は裏面をご参照ください。

株式会社 シー・シー・ピー

〒111-0043
東京都台東区駒形2-5-4

CCP'S

取扱説明書

保証書付

ハイブリッド式加湿器

品番 KJ-373HE

このたびはお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

家庭用

この商品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源・電圧が異なりますので使用できません。
This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.

もくじ

安全上のご注意 ―必ず守ってください―

ご使用の前に、必ずお読みください。また、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保存してください。

◎ここに示した注意事項は、本商品を安全に正しくお使いいただき、あなたやほかの人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。必ず守ってください。

誤った使いかたをしたときに生じる危険や損害の程度を表わす図記号です。

	「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を表わしています。
	「傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容」を表わしています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

 してはいけない「禁止」の内容を表わしています。

 必ず実行していただく「強制」の内容を表わしています。

⚠警告

分解禁止
改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因になります。修理はお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。

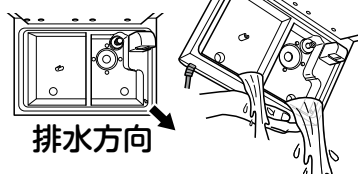
禁止
電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない
また、重いものをのせたり、はさみこんだり、加工したりすると電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

使用禁止
電源コードや差し込みプラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
感電・ショート・発火の原因になります。

使用禁止
子供だけで使用させたり、遊ばせたりしない。また、幼児の手の届く範囲で使用しない
感電・けがの原因になります。

禁止
吹き出し口から噴霧される霧は吸入しない
健康を害する場合があります。

使用禁止
本体内部のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使用しない
霧化部に洗浄剤が残り、有毒ガスが発生したり故障の原因になります。

水ぬれ禁止
水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電・火災の原因になります。

プラグを抜く
お手入れの際は必ず差し込みプラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。

プラグを抜く
異常時（焦げくさいなど）は、運転を停止して差し込みプラグを抜く
異常のまま運転を続けると火災や感電の原因になります。運転を停止してお買い上げの販売店または当社サービスセンターにご相談ください。

禁止
吹き出し口や本体のすき間にピンや針金などの異物を入れない
感電やけがの原因になります。

使用禁止
交流100V以外では使用しない
火災・感電の原因になります。

排水方向から
排水方向から排水する
排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショートの原因になります。

排水時は必ず先に差し込みプラグを抜いてください。
(⇒18p参照)

ぬれ手禁止
ぬれた手で、差し込みプラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

⚠注意

プラグを持って抜く
差し込みプラグを抜くときは電源コードを持たずに、必ず先端の差し込みプラグを持って引き抜く
感電やショートして発火することがあります。

プラグを抜く
使用時以外は、差し込みプラグをコンセントから抜く
けがややけど·絶縁劣化による感電·漏電・火災の原因になります。

禁止
使用中や使用直後はお手入れをしない
けがややけどの原因になります。

使用禁止
水タンクをはずして使用しない
水が飛び散って床をぬらしたり送風筒から水が入り故障の原因になります。

禁止
不安定な場所には置かない
水がこぼれて床をぬらしたり、故障の原因になります。

禁止
使用中は本体を持ち運ばない
水がこぼれて床をぬらしたり、故障の原因になります。

水を入れ替える
水タンクおよび水槽部の水は毎日新しい水道水に入れ替える
また、水槽部や霧化部も毎日お手入れをして常に清潔な状態でお使いください。

使用禁止
電気製品やパソコン・精密機器などがあるところでは使用しない
湿気や白粉の影響により、機器の故障を引き起こす場合があります。

プラグの点検
ときどきはコンセントや電源コード、差し込みプラグの点検を行なう
コンセントにほこりがたまっていると湿気が加わることで電流が流れ、火災の原因になることがあります。差し込みプラグがはずれかけていたり、破損したりしている場合は特に危険です。
◆おもわぬ事故を防ぐために…
- ●コンセントのまわりにほこりをためないようときどき掃除をする。
- ●差し込みプラグがしっかりと差し込まれているか確かめる。
- ●コンセントや差し込みプラグに異常がないか確かめる。
- ●電源コードの損傷を見付けた場合は直ちに使用を中止し、当社サービスセンターへご連絡ください。(⇒巻末参照)

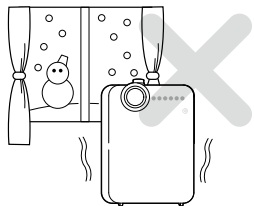
ご使用にあたってのお願い

故障や事故などを防ぐために、必ずお守りください。

水タンクをはずして使用したり、加湿以外の目的では使用しない

床をぬらしたり、故障やけがなどの原因になります。

凍結に注意する

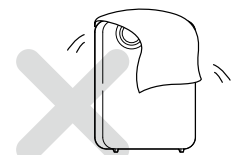
凍結のおそれがあるときはタンクと本体の水を捨ててください。凍結すると、故障の原因になります。

水を入れた水タンクを持ち運ぶときはしずかに

水を入れた水タンクは大変重くなっています。
持ち運ぶときに振り回したりすると、おもわぬけがや破損、水漏れの原因になることがあります。

加湿しすぎない

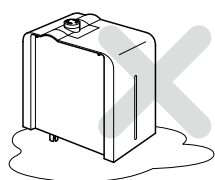
加湿しすぎると室内をぬらしたり、故障の原因になります。

吹き出し口をふさがない

カーテンやタオルなどで吹き出し口をふさぐと、変形や故障の原因になります。

水タンクを本体にセットしたあとや、本体に水が入っているときは、傾けたり持ち運んだりしない

水がこぼれて周囲をぬらしたり、機器の中に水が入って故障の原因になります。

水を入れた水タンクを床やテーブルなどに直接置かない

水タンクの底に付着した水滴がこぼれたり、タンクキャップから水が漏れて周辺をぬらすことがあります。

本体内のお手入れをこまめに行なう

水槽部や霧化部に水あかなどが付着したまま使い続けると、誤作動したり、故障の原因になります。（⇒18ｐ参照）

次の場所では使用しない

直射日光があたる窓際や暖房機の上や近く、エアコンやファンヒーターなどの風が直接あたる場所

変形・変色をしたり、本体や水タンクの温度が異常にあがり、水漏れや誤作動の原因になります。

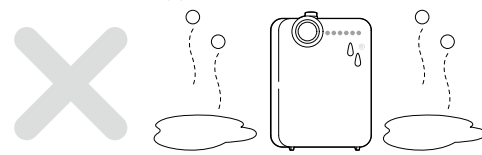
熱に弱い家具や床などの上

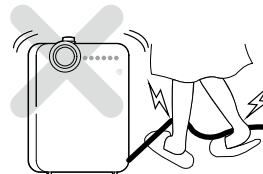
本体底面の熱により変色したり、変形の原因になることがあります。

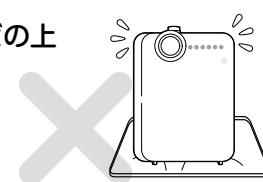
磁気の多いところ

誤作動の原因になります。

湿度の高いところ

周辺をぬらしたり、故障の原因になります。

人がよく通るところ

ぶつかったり、電源コードにひっかかると、加湿器が倒れて水がこぼれたり故障の原因になります。

カーペットやふとんなどの上

本体底面の吸気口がふさがると誤作動や故障の原因になります。

設置場所のご注意

本商品は非常に大きな加湿能力があり、設置場所や設置方法によっては、周辺の家具や床、電気製品などに悪影響をおよぼすことがあります。
家具や電気製品の不調に対して補償はいたしませんので、以下の設置場所に関するご注意をよくお読みになり正しくご使用ください。

精密機器／電気製品のあるお部屋でご使用になるとき

パソコン／携帯電話などの精密機器やテレビ／音響機器などの電気製品の上や近くには絶対に置かないでください。
万が一、水がこぼれたりした場合、機器の内部に水が入り、火災や感電、故障の原因になります。
また、これらからできるだけ離れた場所に設置して「吹き出し口から出る霧」が直接かからないようにしてください。
直接、霧がかかると、ぬれたり、霧に含まれている「白い粉※」が内部に付着して故障の原因になることがあります。
やむをえずこれらの近くに設置するときは、「ノズル」の向きや「加湿量ボタンで加湿量」を調節して、霧が直接かからないように十分注意してください。

家具やカーテンなどが近くにあるとき

家具やカーテンなどからできるだけ離れた場所に設置して「吹き出し口から出る霧」が直接かからないようにしてください。
直接家具やカーテンに霧がかかると、変質／変色したり、カビや異臭の原因になることがあります。
また、霧に含まれる「白い粉※」が家具などの表面に付着することがあります。
この「白い粉※」は通常ぬれたタオルなどでふき取れますが、一部の家具では、材質や表面の処理の影響でふき取りにくいことがありますのでご注意ください。
（高価な家具があるお部屋でご使用の場合は特にご注意ください。）
やむをえずこれらの近くに設置するときは、「ノズル」の向きや「加湿量ボタンで加湿量」を調節して、霧が直接家具などにかからないようにしてください。

その他設置に際し特にご注意いただきたいこと

床や畳の上に直接設置する場合

加湿量が多すぎると「吹き出し口から出る霧」で床や畳をぬらすことがあります。
「加湿量ボタンで加湿量」を調節して、周辺がぬれないように十分注意してください。

ふすまや障子、書物、ポスターなどの紙類や壁などの近くに設置する場合

「吹き出し口から出る霧」が直接かかると、変色やシミの原因になることがあります。
「ノズル」の向きや「加湿量ボタンで加湿量」を調節して、霧が直接かからないようにご注意ください。

直射日光のあたるところや暖房器具の上や近くに設置しないでください。 また、温度が低いところからあたたかいところに急に移動しないでください。水タンク内の空気が膨張して、水槽より水があふれる原因になります。

※白い粉について

本商品は「超音波」＋「ヒーター」のハイブリッド式を採用しております。
構造上、霧に含まれる「白い粉」が周辺に残ることがあります。
この白い粉は、霧（水道水）の中の「カルシウム」や「マグネシウム」成分であり、人体には無害ですが、家具や床、電気製品などに大量に付着すると悪影響をおよぼすことがあります。
白い粉が目立つときは、ご使用の環境や広さにあわせて加湿量やノズルの向きを調節してお使いください。

ノズル

ツインノズルは自由に回転できます。

可動式ノズルヘッドは広い範囲を加湿するときに使います。(⇒15p 参照)

イオン交換フィルター(着脱式)

※消耗部品

水道水に含まれているカルシウム分やマグネシウム分をイオン交換によって軽減します。白粉の発生をおさえるため、フィルターを必ず使用してください。(⇒22p参照)

お知らせ

イオン交換樹脂が少し溶け水槽内の水が薄茶色になりますが、性能、安全面は問題ありません。

湿度センサー
(加湿器周辺の湿度を検知します)

LED表示パネル (⇒10p〜参照)

差し込みプラグ

電源コード

給水ライト

運　転　時：青色 LED 点灯
運　転 停止：青色 LED 消灯
(電源ボタンに触れるたびに切り替わります。)
水切れ時：赤色点灯(⇒10、17p 参照)

内　部

操作部

電源ボタン
電源の「入」「切」を行ないます。
(⇒10p参照)

オート運転ボタン
快適な湿度を保ちながら運転します。
(⇒12p参照)

湿度設定ボタン
設定した加湿量で運転します。
(⇒13p参照)

明るさ切り替えボタン
LEDライトの表示方法を変更します。
(⇒11p参照)

タイマーボタン
タイマーの設定を行ないます。
(⇒12p参照)

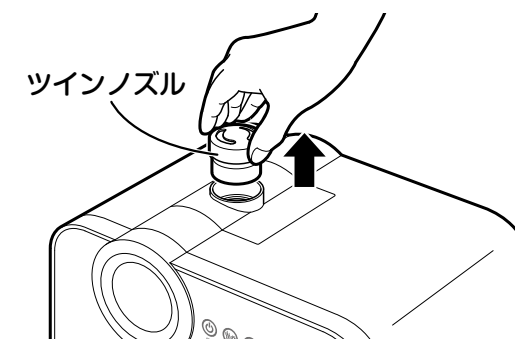
加湿量ボタン
加湿量の調節を行ないます。
(⇒14p参照)

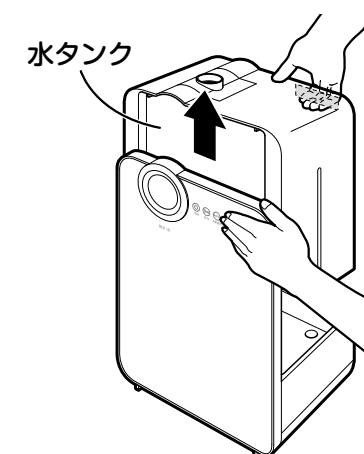
付属品

使いかた

タンクに水を入れる

1 水タンクからツインノズルをはずす

※ツインノズルを付けたまま水タンクを逆さまにするとツインノズルが脱落するおそれがあります。
必ず、ツインノズルをはずしてください。

2 本体から水タンクをはずす

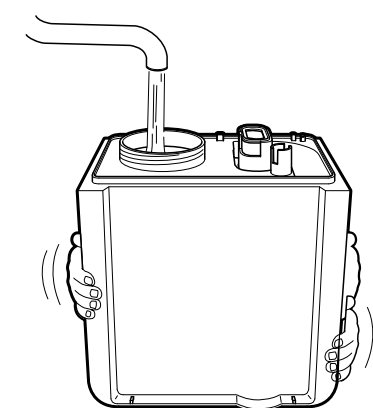
※水槽内に水が入っているときは水タンクの下に付着した水がこぼれることがあります。
タオルなどを敷いて周辺をぬらさないように注意してください。

3 タンクキャップをはずし、水タンクに水道水を入れる

※本体や水タンクにアロマオイルや芳香剤、洗剤、化学薬品、温水（40℃以上）などを入れないでください。
水タンクや内部の部品に悪影響を与え、故障の原因になることがあります。

※水道水以外の水（ミネラルウォーター、地下水、温泉水、アルカリイオン水、次亜塩素酸水など）を入れないでください。
水の成分によっては内部に悪影響を与え、故障の原因になることがあります。

※本体や吹き出し口に直接水を入れないでください。
本体内部に水が入り故障の原因になることがあります。

※水タンクをぶつけたり、落としたりしないでください。
水タンクに衝撃を与えますと破損して水漏れの原因になります。
万一、水タンクに大きな衝撃を与えてしまったときは、使用せずに当社サービスセンター（⇒巻末参照）にご相談ください。

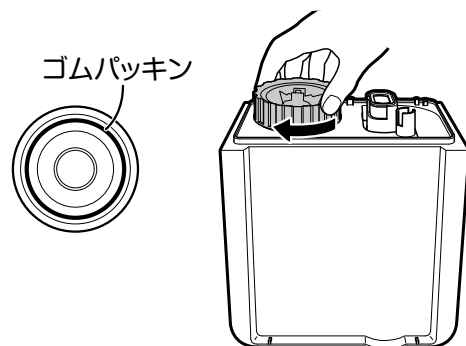
※水タンクの水は毎日交換して常に清潔にご使用ください。

満水で約7.5リットル入ります。

⚠注意

水タンクはしっかり支えて持つ
水タンクに水を入れると重くなります。水タンクをしっかりと支えて落とさないように十分注意してください。

4 タンクキャップをしっかりしめる

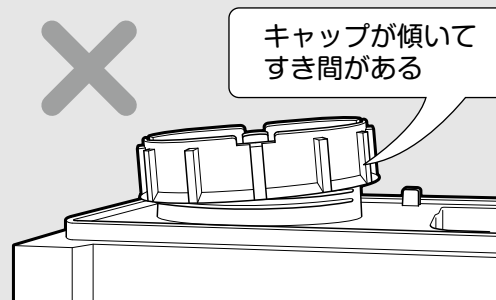
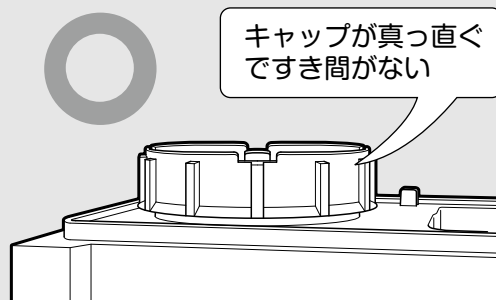
※ゴムパッキンがタンクキャップに付いていることを確認してください。また、キャップはしっかりとしめ付けてください。

ゴムパッキンがはずれていたり、キャップのしめ付けが弱いとタンクに空気が混入して、水漏れの原因になることがあります。

⚠注意

キャップを真っ直ぐにしめ付ける

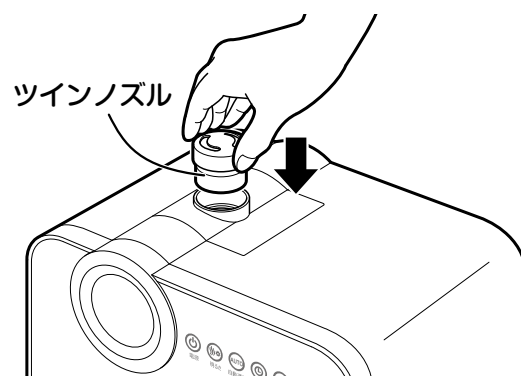
水タンクのキャップを取り付けるときは、必ずキャップを真っ直ぐにしめ付けてください。
水タンクのキャップが傾いて取り付けられてしまうと、水タンクとキャップのすき間から水が漏れたり、ご使用中に水があふれたりして、床などをぬらしてしまう原因になります。

水タンクのキャップを取り付けたあとは、必ず下記の点をご確認ください。

キャップが傾いて取り付けられているとき / キャップが正常に取り付けられているとき

5 水タンクを本体にセットし、ツインノズルを取り付ける

※水タンクをセットしたあとは本体を移動したり、水タンクの取り付け、取りはずしをむやみにくり返さないでください。

水がこぼれて周囲をぬらしたり、故障の原因になります。

※ツインノズルを取り付けないで運転すると霧で本体や周辺がぬれます。必ず運転前にツインノズルを取り付けてください。

⚠注意

可動式ノズルヘッドを水タンクに直接取り付けない

可動式ノズルヘッドはロングノズルパイプ専用です。
水がこぼれて周囲をぬらしたり、故障の原因になります。

運転前に知っておいていただきたいこと

● **はじめてお使いになるときや水を入れ替えたときは、水タンクを本体にセットしてから霧が出るまでに時間がかかります。**

これは、水が「イオン交換フィルター」を通過したり、本体水槽内に水が行きわたるまでに時間がかかるためです。この場合は、水タンクをセットしてから10分程度待ってから電源を入れてください。

Point 水タンクの水が少ないと、水が「イオン交換フィルター」を通過するのに時間がかかり、霧が出るまで長い時間かかることがあります。水は「水タンクの8割以上」を目安に補給することをおすすめします。

● **運転を始めた直後は霧が安定しないことがあります**

これは水道水の水温や水質により振動子での霧化が安定するまで時間がかかるためです。10～15分運転することにより、徐々に霧の量が安定してきます。

お知らせ **イオン交換フィルターにより水が茶色に着色されることがあります。**

本商品に使用しております「イオン交換フィルター」は内部のイオン交換樹脂の作用により、使い始めに水槽内の水が茶色に着色することがあります。そのままご使用いただいても、安全面や性能面に支障はありません。気になるときは、一度水槽内の水をすべて捨て、再度水タンクを本体にセットしてからご使用ください。

お願い **水タンクに水を入れてから運転停止状態で長時間放置しないでください。**

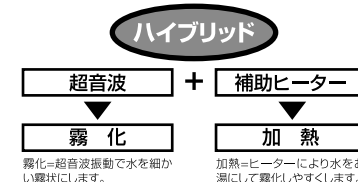
運転停止状態では水タンク内の圧力があがり、水漏れの原因になることがあります。
ご使用時以外は必ず水タンクと水槽内の水をすべて抜いておいてください。
（水槽内の排水のしかたは⇒18ページを参照してください。）

ハイブリッドの特長について

本体内蔵ヒーターのはたらきにより、タンクの水を加熱してから霧化部（振動子）に送り、あたたかな霧として吹き出します。あたたかな霧により、加湿効率を上げることができます。
また、あたたかな霧を吹き出すので周囲の温度も下げません。

※吹き出し口から出てくる霧が **10～20分後** にあたたかい霧に変わります。

Point あたたかい霧が吹き出すまで10～20分ほどかかります。
これは、ヒーターが加熱してから水槽内の水をあたたかくするまで時間がかかるためです。

※本商品は約40℃の霧を吹き出しますが、まわりの温度や湿度の状況によっては、霧があたたかく感じにくいことがあります。

● **霧の量が安定しない場合があります。**

霧が出始めてから30分以上経過しても霧の量が少なかったり安定しない場合は、水や周囲の温度変化や本体の衝撃などで一時的に内部に水が入りすぎてしまっていることが考えられます。
このような場合は、本体内部（水槽部）の水をすべて捨てて、あらためて水タンクをセットし直してください。

● **湿度表示は目安としてお使いください**

・直射日光やエアコンなどの温風があたると湿度センサーが正しく感知しにくくなりますので、風・熱の影響を受けにくい場所へ置いてください。
・同じ部屋でも空気の流れや場所・高さにより湿度が異なります。サーキュレーター・エアコンなどを使って空気を循環させてください。
・加湿器の湿度センサーと湿度計では、精度や応答の速さなどが異なりますので、湿度表示は目安としてお使いください。

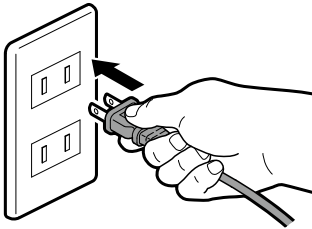
安全上のご注意
ご使用にあたってのお願い
各部のなまえとはたらき
使いかた
お手入れと保管
修理を依頼される前に

運転のしかた

⚠注意

ツインノズルを使用する場合は、加湿量を「弱」で運転する

霧が全体に広がらず、本体がぬれてしまうことがあります。

1 差し込みプラグをコンセント(交流 100V)に差し込む

⚠警告

電源コード・差し込みプラグが傷んでいるときや、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。

⚠注意

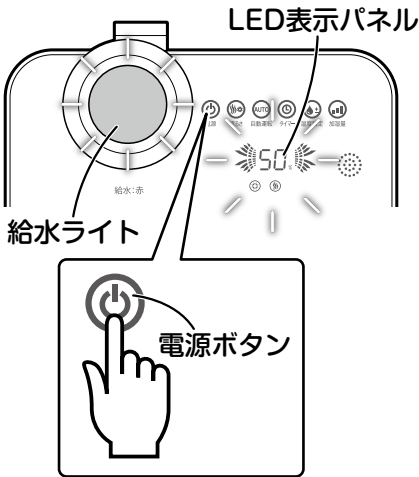
水タンクに水のないときや本体を倒した状態では絶対に通電しない

故障の原因になります。

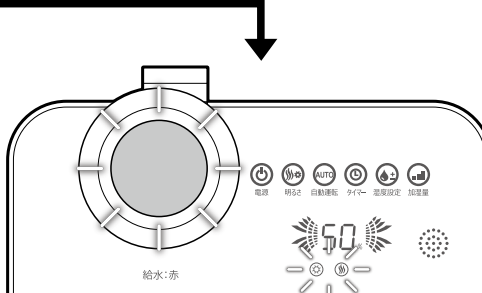
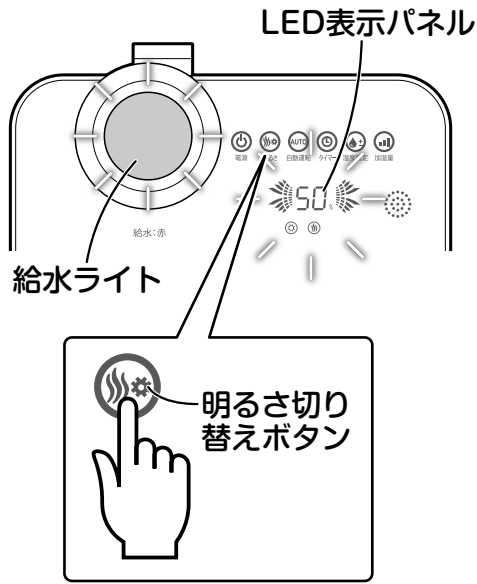
2 電源ボタンに触れる

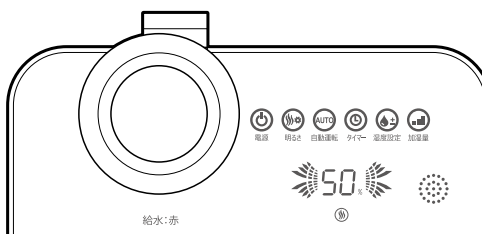
- 電源が入り給水ライトと LED 表示パネルが青色に点灯し、運転を開始します。
- 吹き出し口から霧が出はじめます。
- はじめは加湿量が「強」になっています。

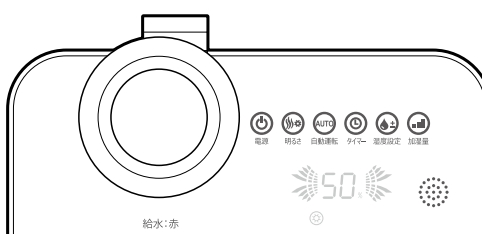
Point

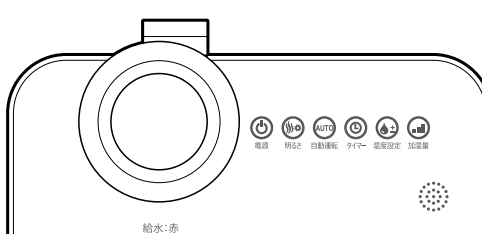
- 水タンクが正しく取り付けられていないと安全装置がはたらき電源が入りません。
- 電源「入」時に給水ライトが赤色に点灯しているときは、水が供給されていません。一度、電源ボタンに触れて電源を切り、給水後しばらく待ってから再度、電源ボタンに触れて運転を開始してください。
- 運転をはじめた直後は霧が安定しないことがあります。10 ～ 15 分運転することにより、徐々に霧の量が安定してきます。

給水ライト、LED表示パネルのON/OFF切り替え

明るさ切り替えボタンに触れる

明るさ切り替えボタンに触れるたびに、給水ライトとLED 表示パネルの ON/OFF が切り替わります。

給水ライトと、LED表示パネルが点灯し、LED表示パネルの☼と♨が点灯する。
(電源投入時の状態)

▼

給水ライトが消灯し、LED表示パネルの☼のみが消灯する。

▼

LED表示パネルが少し暗くなる。

▼

LED表示パネルが消灯する。

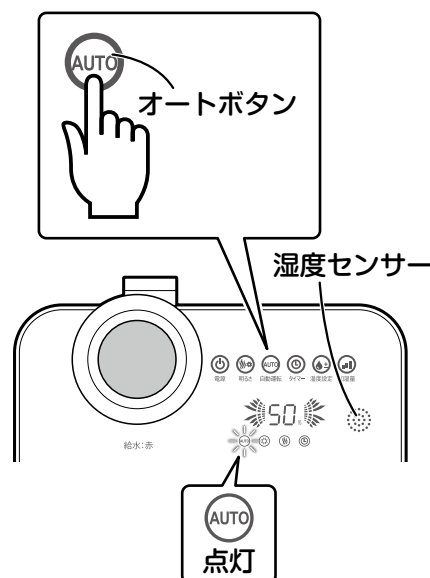
自動運転のしかた

自動運転とは

湿度センサーで室内の湿度を検知し、快適な湿度を保ちながら運転します。

オートボタンに触れると自動運転に切り替わり、
もう一度オートボタン触れると通常運転に戻ります。
自動運転中はLED表示パネルに(AUTO)が点灯します。

現在の湿度環境によっては、オートボタンを押した時に加湿が停止することがあります。

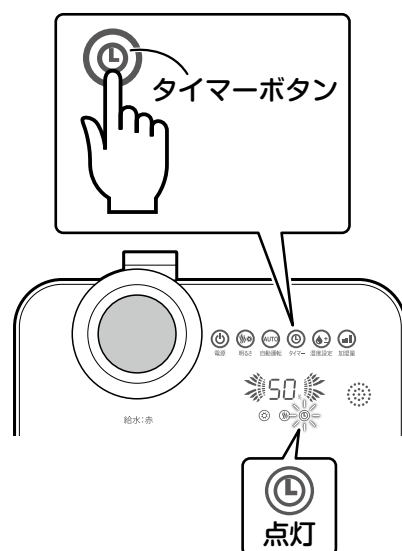
Point 湿度センサーが室内の湿度を検知して、自動で加湿量を調節し、快適湿度（約50%〜60%）を保つように運転します。
お好みの湿度に設定するときは
13ページ 湿度設定のしかた をご参照ください。

タイマー機能の使いかた

タイマー機能とは

加湿器の運転時間を1時間〜12時間まで選べます。

タイマーボタンに触れるたびに 1 時間〜 12 時間の 1 時間刻みで設定可能です。
タイマー機能使用中は LED 表示パネルに◎が点灯します。

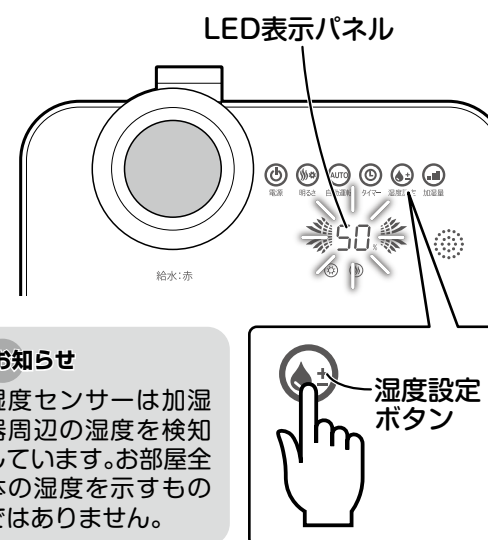
タイマーセット後、指定した時間運転後、自動的に運転を停止し、電源が切れます。

Point 運転を再開するには、再度電源ボタンに触れて、電源を入れ直してください。

お知らせ ガスコンロなどの近くで加湿器を使用したとき､まれに炎が赤くなることがあります。これは、霧に含まれる水道水の成分が炎に反応（炎色反応）するもので故障ではありません。気になるときは、加湿器の設置場所を変えてください。

湿度設定のしかた

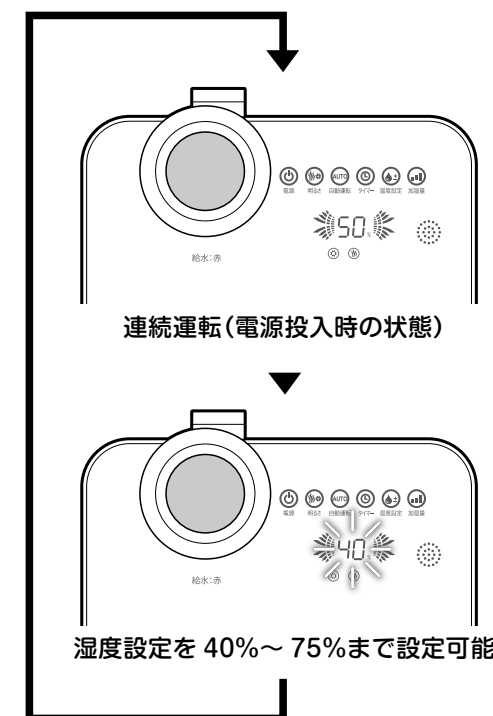
湿度設定ボタンに触れることで設定できます

加湿器の湿度設定を40%〜75%まで選べます。

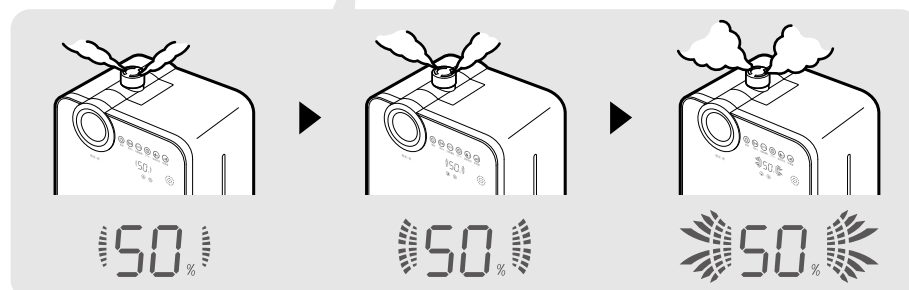
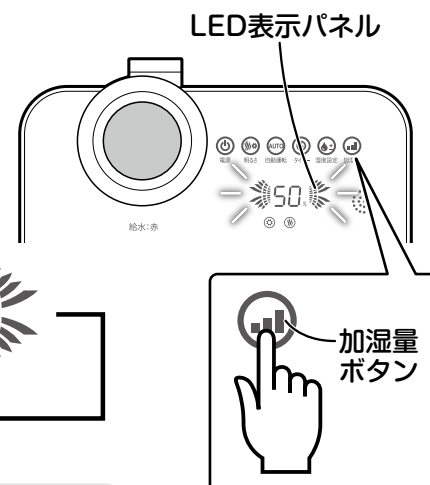
湿度設定ボタンに触れるたびに 40%〜 75%の 5% 刻みで設定可能です。

お知らせ
湿度センサーは加湿器周辺の湿度を検知しています。お部屋全体の湿度を示すものではありません。

⚠注意

長時間本体から離れる場合は電源を停止する

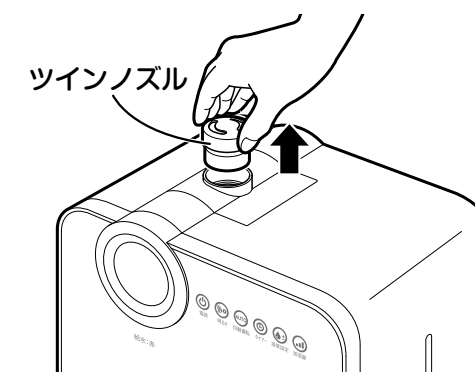
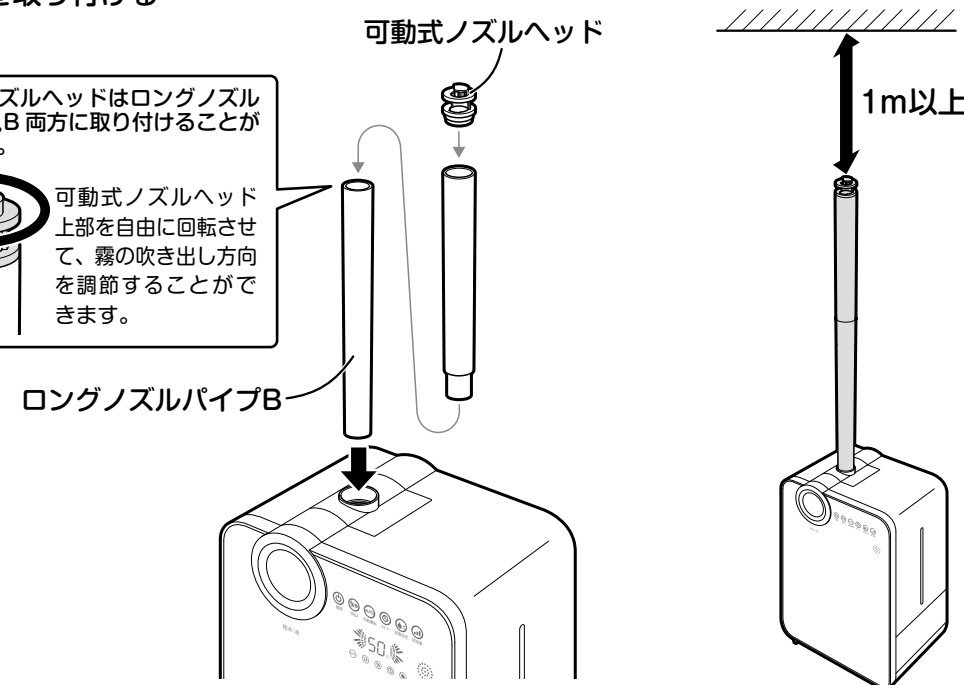
設定した湿度より加湿器周辺の湿度が上回った場合は霧が出なくなりますが、設定した湿度より加湿器周辺の湿度が下回った場合は再度霧が吹き出します。

加湿量を調節する

調節のしかた

- 加湿量ボタンに触れることで3段階の調節ができます。
- お好みの加湿量に調節してお使いください。
- 加湿量によって、LED表示パネルが下記のように表示されます。

お願い 加湿のしすぎに注意してください。

加湿量が多すぎると、床や置き台などの表面が霧でぬれたり、室内の結露やカビなどの原因になることがあります。また、精密機器や電子機器、家具などに直接霧がかからないように十分注意してください。
（⇒5ページの**設置場所のご注意**をよくお読みください。）

ロングノズルパイプを付けて運転する場合

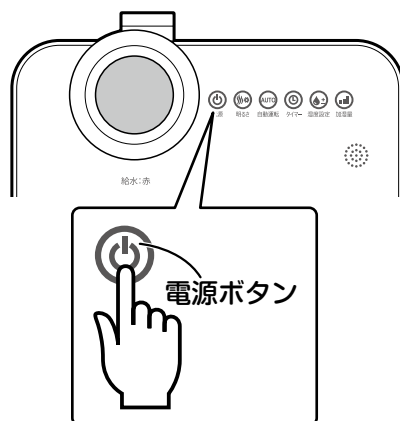
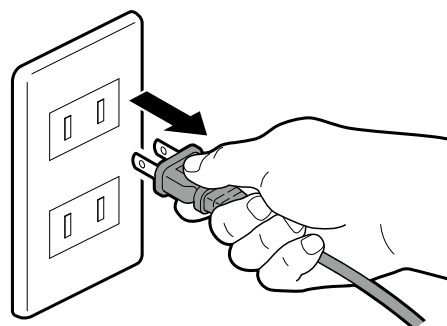
1. ツインノズルを取りはずす

2. 図のようにロングノズルパイプA、ロングノズルパイプB、可動式ノズルヘッドを取り付ける

Point 必ずロングノズルパイプに可動式ノズルヘッドを取り付けた状態でご使用ください。

※可動式ノズルヘッドは水タンクに直接取り付けないでください。

Point 可動式ノズルヘッドの先端から天井までの距離が1m以上離れている場所でご使用ください。

運転を停止する

1 電源ボタンに触れる

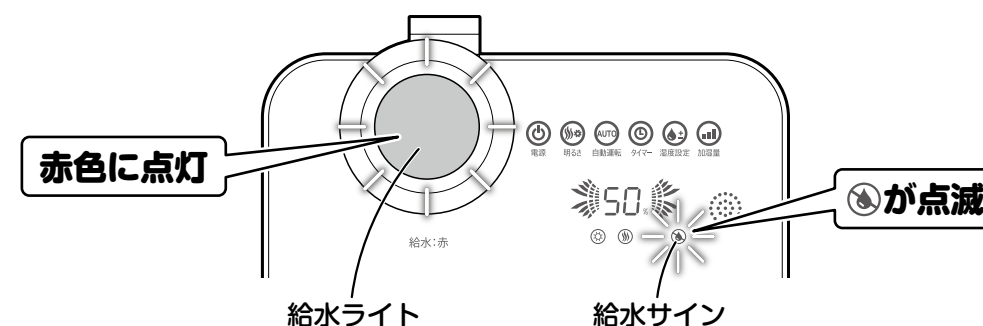
●電源が「切」になり運転が停止します。

2 差し込みプラグをコンセントから抜く

⚠注意

使用しないときは水タンクと
水槽内の水を全て抜く

タンクの水がなくなったら

使用中にタンクの水がなくなると自動的に運転を停止し、給水ライトが赤色に点灯し、LED表示パネルの給水サインが点滅してお知らせします。

●電源ボタンに触れて「切」にしてください。
（給水ライト／LED表示パネルがすべて消灯します。）

Point 給水ライトが点灯しているときは、内部の水位検知（フロート）で運転を停止しています。この状態で水タンクを持ち上げますと、一時的な水位変動により振動子が作動して周辺をぬらすことがあります。必ず電源は「切」にしてください。

●続けてご使用になる場合は、7～8ページに記載されている タンクに水を入れる の手順で給水してから、再度、電源ボタンに触れて電源を入れてください。

※水タンクを持ち上げますと、タンクの底面に付着した水滴がこぼれることがあります。
水タンクを持ち上げるときは、タオルなどを用いて床や家具などをぬらさないようにご注意ください。

※水タンクに水を補給するときは、必ず「ツインノズル」または「ロングノズルパイプ」をはずしてください。
ツインノズルを付けたまま水タンクを逆さまにするとツインノズルが脱落するおそれがあります。

※水タンクを落としたり、ぶつけたりしないように十分注意してください。
水タンクに衝撃を与えますと破損して水漏れが発生するおそれがあります。
万一、水タンクに大きな衝撃を与えてしまったときは、使用せずに当社サービスセンター（⇒巻末参照）にご相談ください。

お手入れと保管

お手入れのしかた

⚠警告

お手入れの際は、必ず差し込みプラグをコンセントから抜く

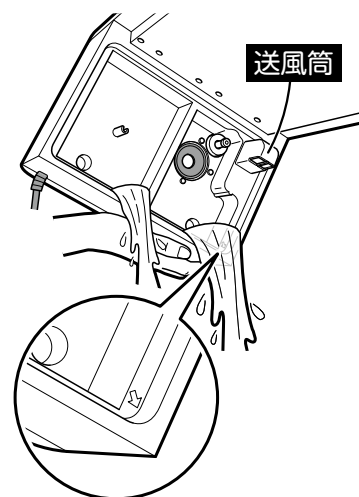
感電の原因になります。

排水のしかた

Point 排水する前に、必ず差し込みプラグをコンセントから抜いてください。

1 水タンクを本体からはずす（⇒7p参照）

2 本体を図の方向に傾けて排水する

※排水時、送風筒から水が入らないよう注意してください。

⚠注意

排水は、必ずお湯が冷めてから行なう	**必ず排水方向から排水する** 排水方向を誤ると、送風筒から水が入り火災・感電や故障の原因になります。

水タンク・ツインノズル(毎日)

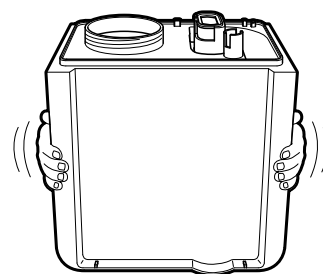
1 ツインノズルをはずし、水タンク内に残っている水を捨てる

※ツインノズルを付けたまま水タンクを逆さまにするとツインノズルが脱落するおそれがあります。必ず先にツインノズルをはずしてください。

2 水タンク内に少量の水を入れ、タンクキャップをしめてよく振り洗いしたあと排水する

●2〜3回くり返してください。

3 ツインノズルの汚れを水洗いしたあと、やわらかい布でふき取る

Point 水タンクに衝撃を与えると破損して水漏れが発生する原因になります。万一、水タンクに大きな衝撃を与えてしまったときは、使用せずに当社サービスセンター（⇒巻末参照）にご相談ください。

⚠注意

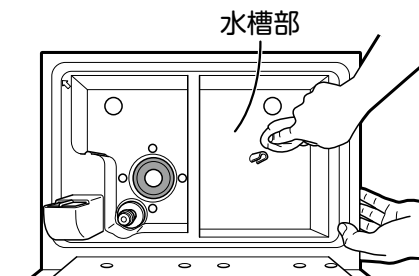
水タンク内に洗剤・漂白剤・除菌剤などを入れない

水槽部・霧化部・フロートなど（毎日）

●毎日お手入れして、常に清潔な状態でご使用ください。

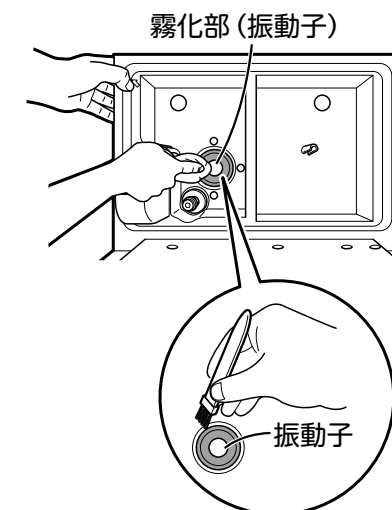
水槽部

◎水を浸したやわらかい布で水槽部の内側に付着した汚れをふき取ってください。

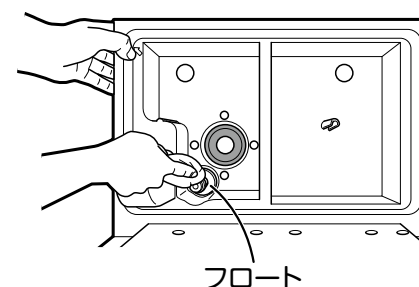
◎細部の汚れは、付属のお手入れブラシで落としたあと、やわらかい布でふき取ってください。

霧化部

◎振動子の表面に付着した汚れは、付属のお手入れブラシを軽くあてて落としたあと、やわらかい布でふき取ってください。

お願い **振動子の表面を金属ブラシや金属へラ、研磨剤入りのたわしやみがき粉などで絶対にこすらないでください。**

変形したり傷がつくと加湿量が少なくなったり、故障の原因になります。

フロート

◎フロートのまわりにゴミなどが入っていないか確認し、ゴミなどがある場合は取り除いてください。

◎細部の汚れは、付属のお手入れブラシで落としたあと、やわらかい布でふき取ってください。

本　体

◎本体外側は、水を含ませたやわらかい布で汚れをふき取ってください。

ロングノズルパイプ、可動式ノズルヘッド

◎汚れを水洗いしたあと、やわらかい布でふき取ってください。

⚠注意

本体の丸洗いはしない

感電や故障の原因になります。

シンナー、アルカリ洗剤、みがき粉、アルコール、ベンジン、ベンゾール、漂白剤、たわしなどを使用しない

変質・変色の原因になります。

保管のしかた

- お手入れしたあと水をよくふき取り、水タンクや本体をかげ干ししてください。
- 水タンクや本体内に残り水がないか確認してください。
- 水タンクや本体を組み立ててポリ袋などで包み、もとの梱包ケースに入れて湿気の少ないところで保管してください。

⚠注意

よく乾かしてから保管する

湿ったまま保管するとカビの発生や、故障の原因になります。

修理を依頼される前に

「故障かな？」と思ったときは、次の点をお調べください。

このようなとき	お調べいただくこと	処置のしかた
・霧が出ない	・差し込みプラグはコンセントに確実に差し込まれていますか？	・正しく差し込んでください。 10p参照
	・湿度の設定を低くしていませんか？	・加湿設定ボタンで設定数値を高くしてください。 14p参照
	・給水ライトが赤色に点灯していませんか？（水タンクの水がなくなっていませんか？）	・水タンクに給水してください。 17p参照
・霧の出が悪い	・湿度の設定を低くしていませんか？	・湿度設定ボタンで設定数値を高くしてください。 13p参照
	・加湿量が「弱」に設定されていませんか？	・加湿量ボタンで「中」または「強」に設定してください。 14p参照
	・内部に水が入りすぎていませんか？	・内部の水をすべて捨てて、あらためて水タンクをセットし直してください。 9,18p参照
	・振動子の表面に水あかなどの汚れが付着していませんか？	・振動子のお手入れをしてください。 19p参照
・あたたかい霧が出ない	・運転を開始した直後ではありませんか？	・あたたかい霧が出てくるまで10～20分ほどかかります。 9p参照
・電源が途中で切れる	・タイマーが設定されていて、時間がすぎていませんか？	・一度電源を「切」にして、再度電源を入れ直してください。 12p参照
・湿度表示が部屋の湿度計と合わない	・本体とお部屋の湿度計が離れていませんか？	・本体の表示湿度は本体周辺の湿度を検知しています。 13p参照
・部屋が結露する	・加湿量が多くないですか？	・加湿量を「弱」にするか「自動運転」に設定してください。 12,14p参照

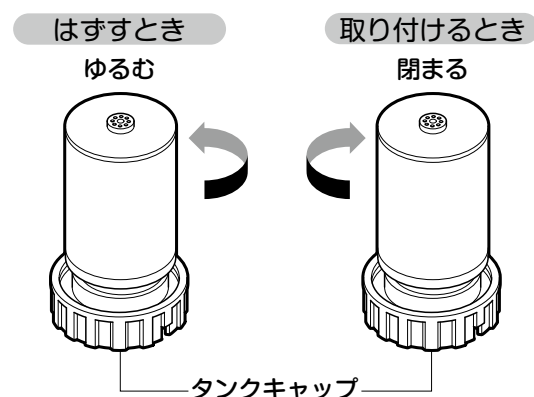
消耗品／交換部品

◎交換部品

◎消耗品

イオン交換フィルターについて

●イオン交換フィルターの有効処理能力には限界があります。有効処理能力を超えてご使用を続けると、水道水中の硬度成分（カルシウムやマグネシウムなど）の除去能力が低下し、白粉の発生量が多くなります。

●交換の目安は、「加湿量 中」の運転時で約150日です。
（1日あたりの加湿器運転時間を6時間として。）
※ご使用頻度や水質によっては交換の時期が早まりますので、白粉の発生状況に注意してください。

お求めは　お買い上げの販売店または当社サービスセンターにご連絡ください。

仕　様

項目	仕様
品　　番	KJ-373HE
電　　源	AC100V 50/60Hz
消費電力	120W
タンク容量	7.5L
加湿量（「強」運転時）	約750ml/h
加湿時間（「強」運転時）	約10時間
適用床面積(目安)（「強」運転時）	木造和室……21㎡（13畳） コンクリート洋室……34㎡（21畳） (ロングノズルパイプを付けて運転した場合)

項目	仕様
外形寸法	幅250×奥行き185×高さ380mm (ツインノズルを付けた場合) 幅250×奥行き185×高さ948mm (ロングノズルパイプを付けた場合)
質　　量	2.83kg (ツインノズルを付けた場合) 2.97kg (ロングノズルパイプを付けた場合)
電源コードの長さ	1.5m
付属品	ツインノズル／ 可動式ノズルヘッド／ ロングノズルパイプ／お手入れブラシ

※加湿量・加湿時間は、室温や湿度環境、壁、構造、使用している暖房機などの環境条件によって大幅に左右されますので目安としてください。
・品質向上のため、予告なく仕様変更する場合があります。

キリトリ線

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）　無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本書をご提示ご持参いただきお申しつけください。
（ロ）　お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げ販売店または当社サービスセンターにご相談ください。
3. ご贈答品等で本書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、当社サービスセンターにご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）　使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）　お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（ハ）　火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（ニ）　車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
（ホ）　一般家庭用以外（例えば、業務用としての使用）に使用された場合の故障及び損傷
（ヘ）　本書のご提示がない場合
（ト）　本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または当社サービスセンターにお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書をご覧ください。
※This warranty is valid only for Japan.